

理事長	事務局次長	施設長	係長	係長	責任者

平成29年度（第3回） 介護・医療連携推進会議

第2シルバーコースト甲子園 定期巡回随時対応サービス

開催日時	平成29年2月13日（火） 13：30～14：40	司会	魚井 珠美	記録	東 洋子
出席者	地域医療関係者： 稲葉 典子 様 事業所： 木村 幸子 岡部 良枝 様 魚井 珠美 地域の方： 佐川 和子 様 東 洋子 有知見者： 山口 佐代子 様 西川 功 様 畠田 久美子 様				
<p>1.参加者紹介（資料1参照）</p> <p>2.定期巡回随時対応サービスの現状について（資料2参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月末で利用者数13名。入れ替わりはあるが、増減は無し。 ・利用者年齢平均は73.8歳。40代の方が居たため、低年齢化している。 ・利用者平均介護度は2.76。全国平均はこれよりまだ少し低い。 ・問い合わせ件数は定期巡回という名前が知られてきているからか、多い月で7件。家族や、病院からも増えてきている。しかし、担当CMによっては利用につながらない事もある。 <p>3.主な随時対応・訪問サービス内容報告（資料3参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間にコールをしにくいと言われる方もまだいるので、必要時押して頂くように伝えている。 ・現在ハンズフリー設定に変更していきっており、必要時にこちらからの電話で安否確認ができる。 ・17～22時（一番定期訪問の多い時間帯）巡回中の緊急コールについては、コール内容により、時には訪問を待ってもらい、状態によっては定期訪問の方に遅れることを連絡し緊急訪問している。 ・訪問に20～30分の遅れが生じるときは、電話連絡するよう対応している。 <p>[質疑応答]</p> <p>稲葉様：コールの中の無音という内容はどんなものか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほとんど通報機が枕元に置いていたり、ペンダント型ボタンをベッド周りにつけているので体の一部が当たったりということが多いが、安否確認のため訪問する。 <p>岡部様：随時の対応はどのくらいありますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規の方などは、慣れるまで夜間が多く、慣れると夜間は少なくなる。1か月にすると、だいたい10件ほど。 ・体調不良の緊急時の対応についてはまず訪看に連絡し指示を仰ぎ（頓服など）様子観察。緊急を要するときは、救急要請し家族に連絡しその後、CM訪看に連絡している。 <p>4.地域包括ケアシステムと定期巡回随時対応サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の24時間のケアの中での1コマとしての関わりをお願いしたい。 <p>（例）弁当宅配=安否確認、訪問入浴=定期巡回との時間調整、訪看=訪問時の服薬、排泄介助等。 家族=服薬、食事、買い物。</p>					
次頁へ					

前頁より

他の意見

- 1日の訪問回数は？
利用者によりますが、多い方で定期巡回が7回程です。
体調不良などの場合には、随時、検温、安否確認、水分補給などにも訪問を増やします。
- 今までと違い包括報酬なので考え方の転換が難しい。
計画作成責任者のプランの作り方。初めの計画で回数が多いと後から減らしにくい
初めはできることをしてもらおう方向で少い回数で計画し、必要に応じて増やしていく。
- ヘルパー事業所への委託事業の展開は現在（チーム型定期巡回）考慮中。
- 委託をすることにより収益が減ることは無いと学習している。
- 収益の分岐点は10名だが、ルートによっては依頼があっても訪問が厳しい時がある。
- 民生委員より秋ごろに高齢者実態調査を行うと、少し今までと違うと感じる方が居るので、地域包括に連絡。
- もととの本人を知らないと認知症等気付きにくいので地域での見守りは大事。
気になることあれば高齢者あんしん窓口、に連絡する。

5.連絡事項・その他

- 定期巡回を立ち上げてから2年3カ月経過しH29年12月26日に市より実施指導がありました。
服薬ミスの改善・計画書の日付についての助言が有りましたが
特に大きな問題は無かったことを報告いたします。
- 24時間あんしんサービスは4月より、緊急通報救護事業になります。
- 4月より介護保険改定により、単位数やオペレーターの配置等変更があります。

6.次回開催

- 平成30年7月10日(火) 13:30～ 当施設にて（新年度より年2回となる）

以上